

LMC・七面山登山記

横須賀市・川村

(概要)

- ・七面山：山梨県・身延町 標高 1,982m
(スタート~ゴール標高差 1,672m)
- ・時 12月21日(土)~22日(日)
- ・宿坊；七面大明神が祀られる「敬慎院」
→標高 1,710m
- ・メンバー(敬称略)：樋口隊長、川澄リター、
佐野ガリダー、石附会計担当、櫻井、阪西、
星、梶山、勝沼、川村 以上 10名

(登山記)

日蓮宗の聖地として有名な七面山登山は今年1年の安全登山に感謝と反省の意味を込めて、隊長とリーダーの決断で企画され参加10名のチームワークのよろしきを得て、厳しくも楽しい山行となった。

1日目、21日(土)

大型タクシーを降り羽衣橋から登山スタート(標高500m)。これに先立ち「羽衣白糸の滝」を背に一同記念写真もスタート。

隊長からの戴いた資料→徳川家康公の側室「お万の方」が身を清めて七面山の女人禁制を解いたとのいわれあり。

行きの山道は登りのみで、珍しく少しの下りもなし。表参道(途中)の昼飯はリーダー特製仕込みの「温かいなめこ汁」で一同大満足。

宿坊敬慎院に着く頃は一面小雪がパラツキ翌日の銀世界を予感させるに十分。

宿坊では精進料理と風呂で裸の付き合い。宿坊のメインは本堂で1時間以上に渡る全員持参の数珠を手に「南無妙法蓮華経」の合唱又合唱。

高僧の説教も賜り貴重な体験。メンバー10人全員が一部屋に集まり炬燵に入って酒盛りと懇談。

来年はLMCで「3月上野で花見」、「7月妙高登山」、「10月櫻井農場で芋煮会」に期待の聲が大。

PM9:00就寝前に屋外のお経の音に気がついたら若い僧2人が雪が深々と降るなか素っ裸でお経の修行の場を見せられた。

見とれるままに靈感新たなる？を実感！！久しぶり振りに湯たんぽを抱いて床に就いた。古き良き時代の省エネを体験。

2日目、22日(日)

朝5時起床、精進料理の朝食。外は予想通り初雪の銀世界。積雪40cm位で山水画を彷彿させられる情景に寒さを忘れしばし見とれた。

全員6時から本堂で例の「南無妙法蓮華経」の御勤めを真剣に実施。

そしていよいよ「七面山山頂」を目指して空荷でピストン。何しろ銀世界。誰も踏みしめていない雪の登山道を先頭者交代でラッセル行軍。

周りの山水画景色に見とれつつ苦しさをつい忘れ順調に山頂へ。

「LMC」の旗の下、雪の積もる山頂標識を中心に記憶に残る記念写真をパチリ。

下山は奥の院(標高1660m)に指しかかる頃は絶好の晴天。そして朝は雲に隠れていたあの「荘厳な富士山」は雲間から現れ素晴らしい雄大な姿を堪能。

そしてひたすらの下り道。足がいよいよ疲労で元気がなくなる頃は「ビールと風呂」の連呼。ついに「七面温泉宿」に到着。

風呂とビール、酒、とんかつ・・・で鋭気を回復。

正月は恒例の「登山と新年会」の話が出た。

H20年LMC初行事は「高尾山登頂と新宿で新年会」の企画が隊長、リーダーより披瀝された。全員出席OK確認。丸山さんはじめ今回来れなかった他メンバーにもご案内して盛り上げようとの事で即決。

温泉宿の後は身延山にお参りし、季節外れの枝垂れ桜も見学。

高速バスで新宿にて再会を誓って散会。